

国際平和デー（2026年9月21日）100日前メッセージ

9月21日の「国際平和デー」まで残り100日となりました。

「国際平和デー」は、全ての国と人々の共通の理想である国際平和を記念し、推進するために国連が定めた日であり、平和の大切さや尊さを考える重要な一日です。

現在、世界各地で武力紛争や対立が続き、多くの尊い命と暮らしが脅かされています。国際社会には対立や分断を乗り越え、対話と協調によって平和を築いていく努力が、これまで以上に求められています。

こうした中、本年の「国際平和デー」のテーマには、「平和に投資しよう—すべての人のために、どこにでも、毎日（Invest in Peace: For Everyone, Everywhere, Every Day）」が掲げられました。

このテーマは、平和は決して当然に存在するものではなく、一人一人の日々の行動や選択によって支えられ、育まれるものであるという考えを示しており、教育や文化、地域活動などの取組を通じて持続的な平和を築く人々を称えるとともに、誰もがどこにいても平和のために自分の役割を果たすことの重要性を訴えています。

こうした考えは、「平和文化の振興」を活動の柱の一つとして掲げる平和首長会議の理念とも軌を一にするものであり、平和な世界を実現するためには、市民一人一人が平和を願い、そのために自分ができることを日常生活の中で実践できる社会や環境が必要です。

平和首長会議では、本年も「国際平和デー」の趣旨に賛同し、166か国・地域の8,579の加盟都市に対して、9月21日の「国際平和デー」に、市民一人一人が平和への願いを共有し、その実現について考え、行動する契機となる取組を実施していただくよう呼び掛けてまいります。

本日から「国際平和デー」までの100日間、改めて、各加盟都市が心をつにし、各地域で平和文化の振興に取り組み、世界中の市民と共に核兵器の廃絶とその先にある世界恒久平和の実現に向けて歩みを進めましょう。

2026年6月13日
平和首長会議会長
広島市長 松井 一實